

## 4 県民の安全・安心な暮らしの基盤づくり

### (4) 安全・安心な暮らしづくり ⑤有機フッ素化合物対策の推進

#### 国への提案事項

#### 1 米軍川上弾薬庫周辺住民の安心・安全のための取組の推進

- 川上弾薬庫に関して、泡消火薬剤の保有及び使用の履歴(時期・場所・量・漏出の有無等)についての詳細な調査と公表、水質・土壌調査の実施(特にヘリパッド周辺)と数値の公表、原因が弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の公表など、必要な対応の実施及びその公表が早急に行われるよう米軍へ働きかけること。
- 米軍による水質・土壌調査が実施されない場合には、県及び市による弾薬庫内への立入と水質・土壌調査等の実施について、米軍へ働きかけること。

#### 2 その他の住民の安心・安全のための取組の推進

- PFOS等の健康影響等に関する情報発信の充実を図ること。
- PFOS等の水稻以外の農作物への影響評価の知見を速やかに公表し、遅滞なく対策を検討すること。

#### 3 PFOS等への対策実施に係る具体的方法の策定

- PFOS等の発生源特定調査・汚染除去等の対策に係るマニュアルの策定など、具体的な方法を提示すること。

#### 4 PFOS等に係る自治体の各種取組に対する財政的支援

- 自治体の継続モニタリング調査や住民への地域保健活動等の取組に対して、財政措置を講じること。

【提案先省庁：総務省、外務省、財務省、農林水産省、国土交通省、環境省、防衛省】

## 現状／広島県の実施

- 令和6年9月、防衛省から、過去、主に川上弾薬庫内北東部のヘリパッド周辺において、PFOSを含む泡消火薬剤を使用した訓練等が行われていた、と回答があった。この事実は、これまでの調査で確認した弾薬庫内北東部の敷地から流れ出る水から高濃度のPFOS等が検出された事実と矛盾するものではなく、敷地内における環境調査の必要性がさらに高まっているが、この回答から2年近く全く進展がみられていない。
- 指針値を著しく超過している地下水について、生活用水として使用することについての不安の声があるが、知見がなく、説明に窮している。
- 自治体と連携して地域住民の健康不安に寄り添えるよう、健康相談等に取り組んでいるが、健康不安は解消されていない。
- 令和7年8月に国の調査・研究が公表され、水稻については玄米へのPFOS等の移行・蓄積はほとんどなく、生産現場においては追加的な対策が必要ないことが示された。
- 自治体が高濃度検出地域を中心とした広範囲の継続調査や住民への健康相談などの対応を実施している。

## 課題

- 防衛省からの回答は、これまで求めてきた内容の一部にとどまっており、川上弾薬庫の詳細な情報等について、未だ明らかになっていない部分があり、原因が特定できていない。
- 環境中からの除去等の方法が確立されておらず、対策に多大な費用を要する、又は、長期に渡って県民生活に影響が出る。
- 簡便な検査方法が確立されておらず、環境調査に多大な費用と時間を要する。
- 健康影響に関する科学的知見が集積されていない。
- 水稻以外の農作物に対する影響や対策が明らかでないことから、市町等に対して適切な助言ができない。
- 事案発生自治体においては、対応に想定外の費用が必要となっているにもかかわらず、財政的な支援がない。